

大分南部地域 まちづくりビジョン



大分南部地域ビジョン会議 平成30年7月



大分南部地域

まちづくりビジョン

表紙の写真

標高56mと県内で一番低い「碓山」の周りに、収穫を待つ黄金色の稲穂が風に揺れ、豊肥線の電車が音を響かせ、まるで黄金の海の上を走っているような、秋限定の光景です。

目次

はじめに	- 1 -
第1章 地域の特性	- 2 -
1 地理的特性	- 2 -
2 地区の歩み・文化的特性	- 2 -
第2章 地域の現状、市の施策	- 5 -
1 土地利用の状況	- 5 -
2 住民交流	- 6 -
3 地域の公共施設	- 9 -
4 地域の避難所・津波避難ビル・防災対策	- 10 -
5 市民との協働によるまちづくりの取組	- 14 -
第3章 人口推移と将来推計	- 18 -
1 大分市の人口推移と将来推計	- 18 -
2 大分南部地域の人口推移と将来推計	- 20 -
3 大分市の人口ビジョン	- 21 -
第4章 地域の分析	- 22 -
1 SWOT分析による地域の検証	- 22 -
第5章 地域の目指すべき姿（将来像）	- 25 -
第6章 将来像の実現に向けた取組	- 26 -
1 これからのまちづくりに向けた市長への提言	- 26 -
2 提言に基づく事業提案の一覧	- 27 -
資料編	- 31 -

はじめに

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政に地域の現状を的確に把握していただき、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、この大分南部地域では地域の活力維持・増進を図ることを目的に、地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を平成29年5月に設置し、地域の現状や課題などを議論し、地域の将来像として「大分南部地域まちづくりビジョン」を平成30年7月に策定しました。

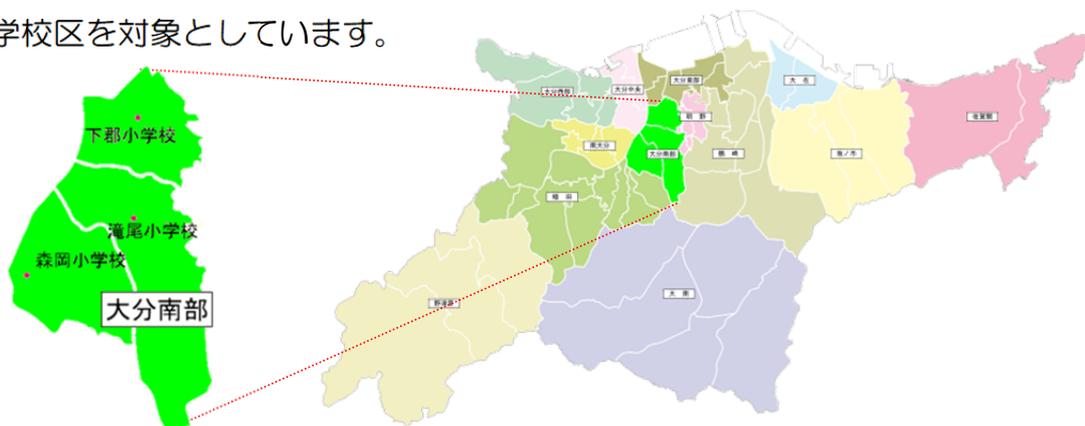
本ビジョンは、大分南部地域の目指すべき将来像をとりまとめ、その実現のため大分市長へ提言します。

市内13地域における地域ビジョン会議

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	穂田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

大分南部地域の対象校区

大分南部地域まちづくりビジョンは、滝尾小学校、森岡小学校、下郡小学校の3小学校区を対象としています。



第1章 地域の特性

1 地理的特性

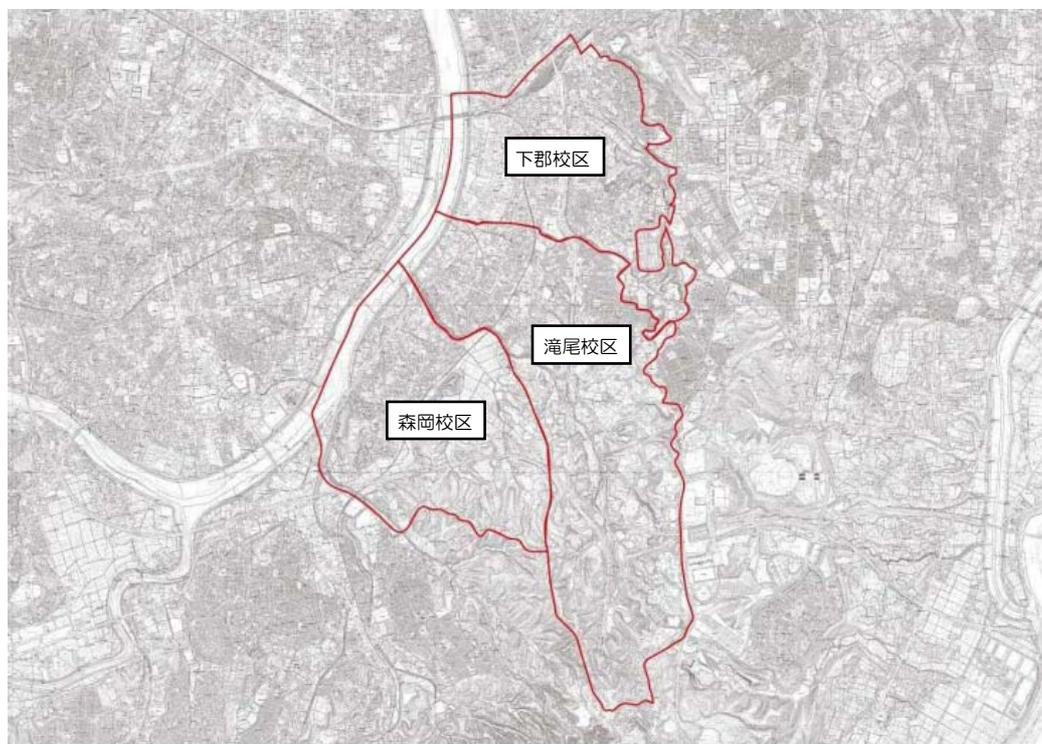
大分南部地域は大分市の中央部に位置しており、地域の西側を大分川が流れ、南東～南側は山に囲まれています。

大分市中心市街地からも近く、明野地域や大南地域へつながる道路や、植田地域と大分東部地域を結ぶ道路などの主要幹線道路が多く交わっているほか、豊肥本線が南北に走っており、通勤や通学に適しています。

2 地区の歩み・文化的特性

(1) 地区の歩み

滝尾、森岡校区では古くからの住宅地が見られる一方、下郡校区には区画整理による宅地化が進んだ地域もあり、大分南部地域内に新旧の住宅地が存在しています。近年では下郡の区画整理に続き、滝尾中部地区では住環境整備が進められるほか、宗麟大橋が開通するなど現在も変化を続けています。



(2) 文化的特性

大分南部地域には滝尾百穴や曲石仏など多くの歴史的遺産が点在しています。地域住民にとっては子どものころから慣れ親しんだ地域のシンボルであり、住民はこれらの文化財を大切に守りながら生活しています。



滝尾百穴横穴古墳群 [市指定史跡]

滝尾中学校グラウンド北の岩壁に見られる、大小75基の横穴墓群です。周辺の他の古墳群と比べ、圧倒的な数を有しています。ほぼ古墳時代後期に造られた、集団墓的な内容をもつ家族墓であると思われます。



曲石仏付双塔(五輪塔)・磨崖連碑 [県指定史跡]

森岡小学校のある森岡丘陵の中腹南面にある磨崖仏で、大分川流域を中心に広く展開される磨崖仏文化の代表例。また、豊後一の宮が置かれ、神仏混淆の精神文化が展開されました。



下郡遺跡群

下郡遺跡群は大分川河口近くの右岸にある標高約6mの自然堤防の上にあります。昭和62年から下郡地区の区画整理事業に伴う発掘調査が行なわれ、縄文時代後期から現代までの長期間にわたる人々の生活の跡が見つかっています。



守岡遺跡群

大分川下流右岸の標高約63mの台地に位置する遺跡です。この台地上には横穴墓群、守岡古墳などがあり、また、中世の山城である守岡堡（とりで）があった所と言われ、弥生時代中期から古墳時代初期、平安・鎌倉時代の複合遺跡であることがわかっています。

大分市指定名木

所有者 霜凝神社(しもこおりじんじゃ)

樹木名 ムクノキ(椋の木)

樹 齢 600年(指定当時)

高 さ 17メートル

幹 周 4.18メートル

(高さ及び幹周は、平成18年度の調査数値)

指定年月日 昭和58年4月4日

所在地 大分市下郡北2丁目212



大分市指定名木

所有者 曲八橋神社(まがりはちまんじんじゃ)

樹木名 クスノキ(楠)

樹 齢 500年(指定当時)

高 さ 25メートル

幹 周 4.84メートル

(高さ及び幹周は、平成18年度の調査数値)

指定年月日 昭和58年4月4日

所在地 大分市大字曲1159



第2章 地域の現状、市の施策

1 土地利用の状況

北側の地域は区画整理が行われた地区をはじめ、住宅団地の開発などによる住宅街が形成されている一方、南側の地域は農地が広がっており、米のほかニラや大葉などが栽培されています。地域内には JR 滝尾駅があり、地域内の交通の要所となっていますが、滝尾駅周辺の住宅街など区画整理が行われていない地域では、住宅が密集し狭隘な道路が残っている地域も見られます。

高齢化に伴い、病院や高齢者福祉施設も多く設置されているほか、地域内には敬老公園や碓山公園など緑も多くみられます。また、米良地区には産業廃棄物処分場が多く立地しているほか、地域の北西部には、下郡工業団地があり多くの工場が立地しています。



2 住民交流

(1) 住民交流

大分南部地域には昔ながらのまつりや行事が残っています。大分市指定無形民俗文化財（選択）の大分社羽田神楽をはじめ、お神楽や神輿、おせったいなど、地域の子どもたちと一緒に取り組むイベントが多くあり、地域全体で連帯感を大切にした交流が行われています。

また、滝尾校区では子育てサロンを定期的を開催する等、地域が一体となって子育て支援に取り組んでいるほか、ふれあいサロンを通じて高齢者も一緒に触れ合える環境づくりなども進んでいます。

○大分社羽田神楽・下郡里神楽・片島里神楽

滝尾には3つの神楽座があり、大分社羽田神楽は昭和45年創立。庄内神楽の流れをくみ平成13年には大分市指定無形民俗文化財（選択）に指定されました。



○相撲大会

かつて北下郡天満神社のお祭りで行なわれていた、こども相撲大会を平成29年から復活させ開催しています。



○曲石仏おせったい

曲上・曲下・芳河原の3自治会で曲石仏へ通じる道の掃除を行い、「おせったい」を実施しています。



※「おせったい」とは、大師信仰から生まれた風習、行事で、寺社への参拝者に飲食物をふるまうことですが、一般には弘法大師を信仰する人々が、毎年旧3月と7月の21日に大師の像をまつり、参拝者に菓子やモチ・握り飯などを接待することをいいます。

○片島地域のこども神輿

8月には、片島地域でこども神輿のイベントがあります。

○大分南部子どもルーム

大分南部子どもルームは児童の健全育成を推進し、子育て中の家庭を支援することを目的とし、大分南部公民館の敷地内に設置されています。ワンルームで目が届きやすく、ボランティアによる英語、エアロビ、リトミック、読みきかせなどの活動も行われています。



○子育てサロン

3小学校区において、ぽっぽたきお、ぽっぽもりおか、ぽっぽしもごおりの3つのサロンが活動しています。子育て中の親子が気軽に集い、繋がりをつくれるふれあいの場として、子育ての悩みや思いを共有する仲間をより身近な範囲でつくる活動を行っています。

○地域ふれあいサロン

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らすために、生きがいつくりや仲間づくりの場として、地域のボランティア等の協力を得ながら活動しています。

○滝尾地域包括支援センター

滝尾地域包括支援センターでは、めじろん元気アップ体操の普及・啓発に取り組んでいます。ふれあいサロンや老人クラブ、公民館等でも活動を行っています。



○登下校時の声掛け・パトロール活動

学校PTAを中心に、登校時には交通量の多い箇所などに立ち、子どもたちへの声掛けを行い、下校時にも保護者等が腕章をつけて地域のパトロールを行うなど、地域の安全のために活動を行っています。

○総合型地域スポーツクラブ（NPO法人滝尾百穴クラブ）

滝尾百穴クラブでは、地域に暮らす子どもから高齢者までの住民に対して、心身の健康づくりや生きがいづくりに関する事業を行い、健康寿命を延ばし、地域コミュニティの形成・活性化に寄与するため、バドミントンや太極拳などの各種活動を行っています。

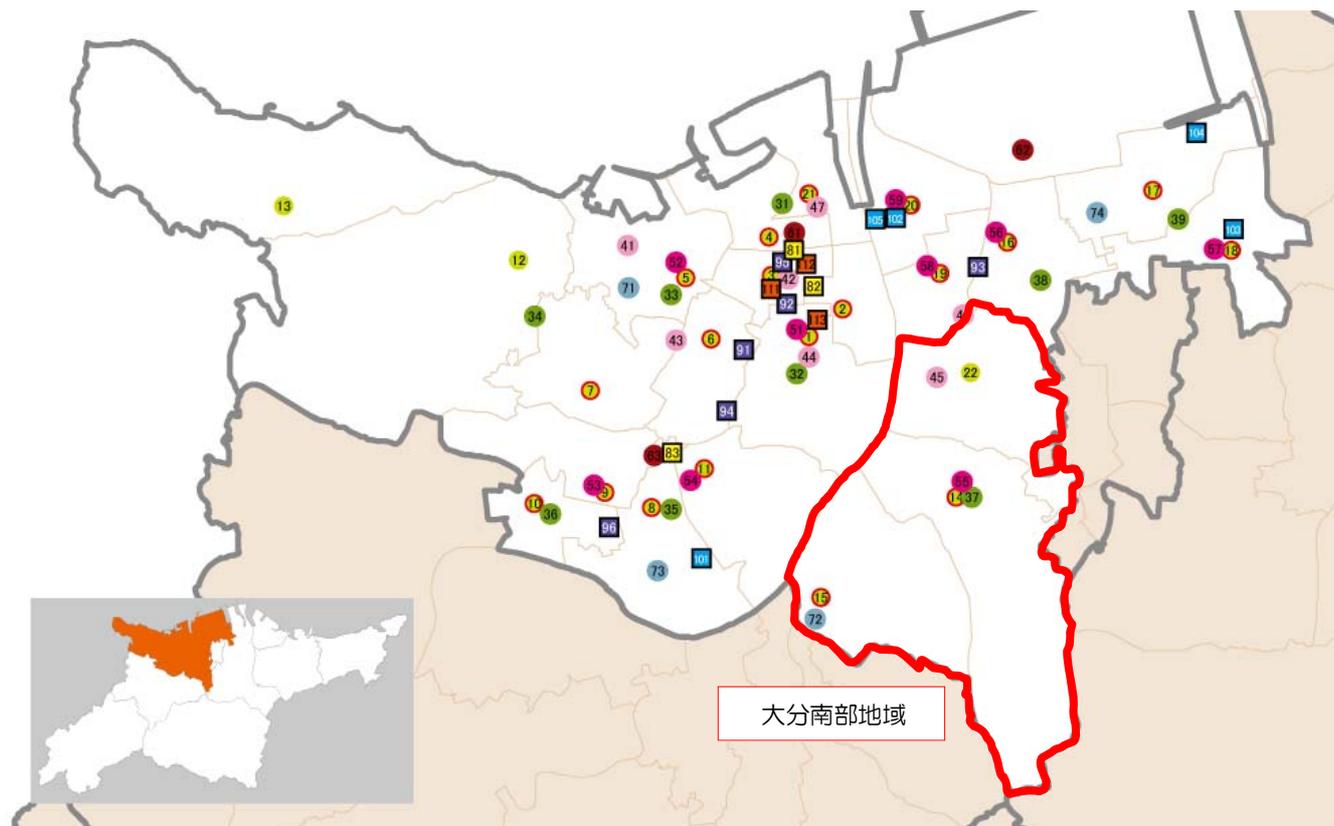


3 地域の公共施設

大分南部地域には滝尾小学校、森岡小学校、下郡小学校の3小学校と滝尾中学校があります。下郡小学校は区画整理にかかるマンションや住宅地の開発に伴い児童数が増加したため平成13年に開校しました。

また、交通渋滞の緩和を図るため、滝尾橋上流に宗麟大橋が整備され、平成30年1月に開通しました。

大分地区の主な公共施設



- | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|
| <p>1 小学校 ○児童育成クラブ (近隣含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 金池小 ② 長浜小 ③ 荷揚町小 ④ 中島小 ⑤ 春日町小 ⑥ 大道小 ⑦ 西の台小 ⑧ 南大分小 ⑨ 城南小 ⑩ 荏隈小 ⑪ 豊府小 12 八幡小 13 神崎小 14 滝尾小 15 森岡小 16 東大分小 17 日岡小 18 桃園小 19 津留小 20 舞鶴小 21 住吉小 22 下郡小 | <p>3 中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 31 碩田中 32 上野ヶ丘中 33 王子中 34 大分西中 35 南大分中 36 城南中 37 滝尾中 38 城東中 39 原川中 | <p>4 保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> 41 生石 42 浜町 43 新春日町 44 金池 45 下郡 46 裏川 47 住吉 91 桜ヶ丘 (ホルトホール大分内) | <p>5 幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 51 金池 52 春日町 53 城南が丘 54 豊府 55 滝尾 56 東大分 57 桃園 58 津留 59 舞鶴 8 南大分 (南大分小学校内) | <p>6 こどもルーム・児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> 61 府内こどもルーム 62 原新町こどもルーム 63 旭町児童館 72 大分南部こどもルーム (大分南部公民館内) 91 中央こどもルーム (ホルトホール大分内) | <p>7 地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> 71 大分西部公民館 72 大分南部公民館 73 南大分公民館 74 大分東部公民館 92 大分中央公民館 (コンバルホール内) |
| <p>8 福祉・保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 81 大分市保健所 82 いきいき健康館 83 旭町文化センター 91 総合社会福祉保健センター (ホルトホール大分内) | <p>9 ホール等・図書館・美術館等</p> <ul style="list-style-type: none"> 91 ホルトホール大分 (大分市民図書館本館) 92 コンバルホール (大分市民図書館分館) 93 平和市民公園能楽堂 94 大分市美術館 95 アートプラザ 96 情報学習センター 71 大分西部公民館 図書室 72 大分南部公民館 図書室 73 南大分公民館 図書室 74 大分東部公民館 図書室 | <p>10 スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> 101 南大分スポーツパーク (プール・体育館) 102 市営温水プール 103 桃園公園プール 104 向原公園プール 105 市営陸上競技場 74 市民体育館 (大分東部公民館内) 92 コンバルホール内体育館 | <p>11 庁舎等</p> <ul style="list-style-type: none"> 111 市役所 112 城崎分館 113 金池会館 | | |

4 地域の避難所・津波避難ビル・防災対策

大分南部地域では、過去に大雨による浸水被害が発生したため、現在、片島地区に雨水排水ポンプ場の整備が行われています。

地域には指定避難所が6箇所、福祉避難所が6箇所、津波指定避難ビルが5箇所設置されています。また、市内で唯一消防団の充足率が100%となっており、日ごろから連帯感をもって、活発に防災活動などに取り組んでいます。



○指定避難所

校区	施設名	避難可能人員	
		一時	避難所
滝尾	滝尾小学校	886人	443人
滝尾	滝尾校区公民館	172人	86人
森岡	森岡小学校	700人	350人
森岡	大分南部公民館	540人	270人
森岡	森岡校区公民館	112人	56人
下郡	下郡小学校	1,215人	607人

○福祉避難所

校区	種別	施設名
森岡	(特養)	リバーサイド桃花苑
森岡	(老健)	リバーサイド百々園
森岡	(生支)	憩いの館
下郡	(特養)	緑風苑
下郡	(軽費)	白寿苑
下郡	(軽費)	ケアハウス滝尾悠々壺番館

○津波避難ビル

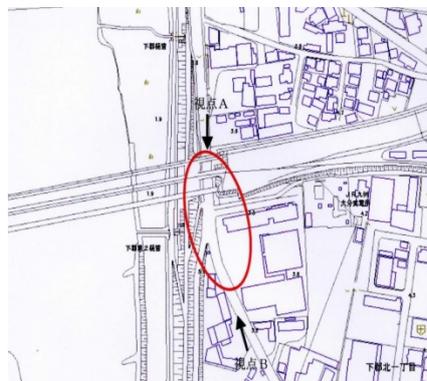
校区	施設名	指定場所	海拔 (TP.m)
滝尾	滝尾小学校	3階以上	10.0
滝尾	滝尾中学校	3階以上	9.1
下郡	下郡小学校	3階以上	6.2
下郡	市営下郡 H6 住宅	3階以上	4.8
下郡	県営下郡住宅	3階以上	5.3

○洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップは、30～100年に1回程度の確率で降る大雨（河川ごとに想定雨量などが異なる）により河川がはんらんしたときに、浸水が想定される区域と水深を表示したもので、この区域に入っていない場所でも、水害が発生しないとは限りませんので注意が必要です。



○局地的豪雨道路冠水予想箇所
滝尾橋東日豊線・豊肥線ガード下



旧中央清掃事業所前



下郡アンダーパス



広瀬橋アンダーパス



5 市民との協働によるまちづくりの取組

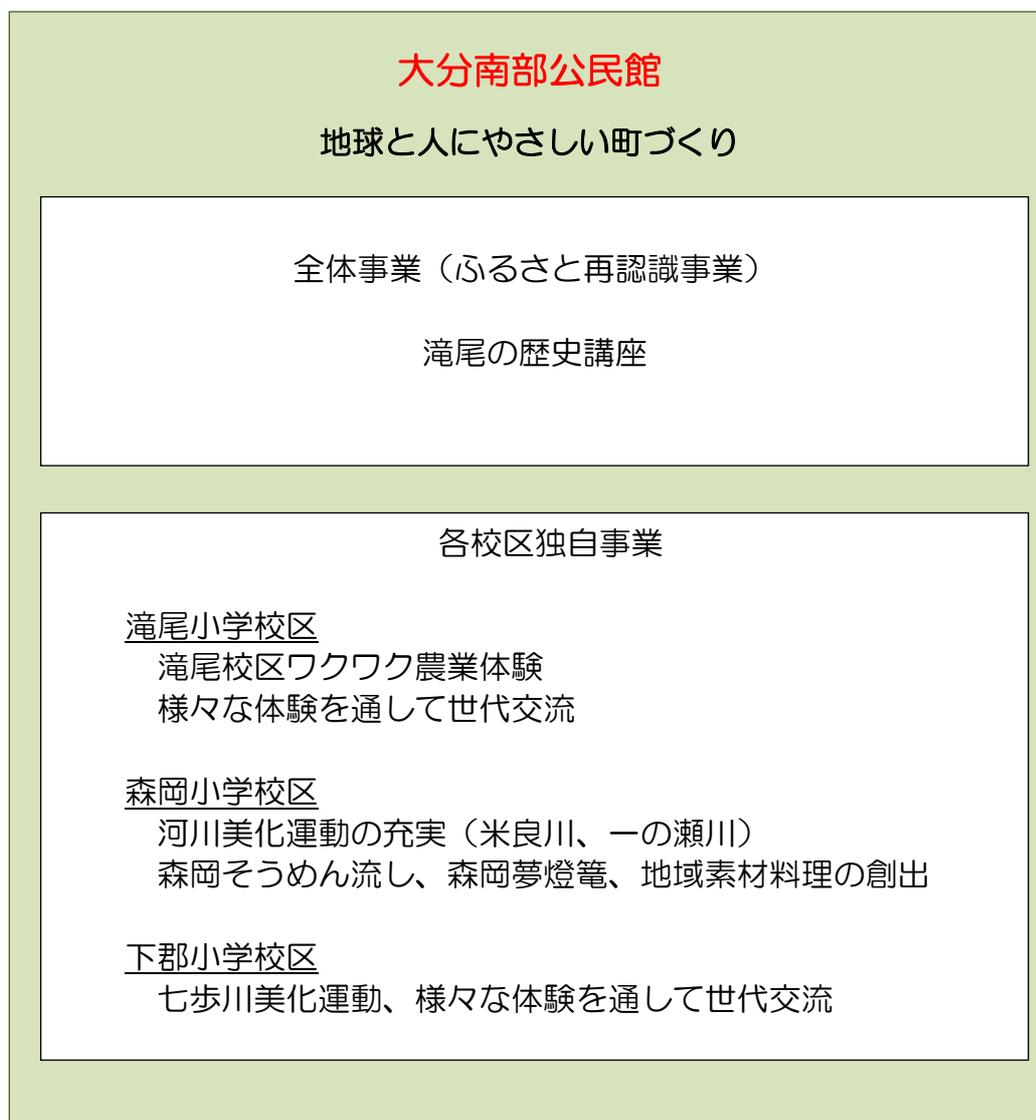
(1) 地域まちづくり活性化事業

地域課題解決のための事業を地域住民が主体的に考え、市民と行政が協働で取り組み、課題解決を図るとともに地域活性化の新たな魅力創出につなげることを目的とした事業です。

【平成30年度計画】

大分南部地域 テーマ：地球と人にやさしい町づくり

内 容：歴史本の作成、まちづくり交流会



(2) 大分南部地域のまちづくり活性化事業の展開

大分南部地域で以前から行われていた地域活動などを、近年は地域まちづくり活性化事業として実施しており、中には参加者が数百人に達する事業もあります。

① 滝尾歴史本作成

滝尾連合自治会による滝尾の歴史を後世に伝えるための取組として、「伝えたい滝尾の記憶」のタイトルで平成28年度に滝尾歴史本を200冊制作し、南部公民館や各校区公民館に配置しています。また、平成29年度からは郷土史家を講師として地域の歴史を学ぶことができる講座を各校区公民館で開催しています。

② 校区まちづくり交流会

まちづくりの課題を話し合う「まちづくり交流会」を平成27年度に森岡校区で開催し、地域活動を支えるボランティアなどの協力体制と、必要なインフラ整備の両面から現状と課題について意見交換を行いました。今後は「地域まちづくり協議会」を小学校区ごとに設立し、協議会を通じてまちづくり活動を行うことも検討しています。

③ 各校区独自事業

【滝尾校区】

〇ワクワク農業体験

地元農家協力のもと、滝尾小児童による田植えや稲刈りを行うことで、子どもたちに農業体験をさせています。冬には収穫したコメを使用したもちつき大会もあわせて実施しています。



○米良川の美化運動

米良川の美化と水質維持のため、米良川の片島から米良にわたる地域で、年間4回程度草刈りを実施しています。

【下郡校区】

○下郡っ子いきいき倶楽部

下郡小学校を舞台に地域の方が講師に、小学校教師がサポート役になって手芸、お菓子作り、竹とんぼ、神楽など10程度の講座を開催して、地域住民と小学校児童とで世代交流を行います。



○七歩川の美化運動

七歩川の美化と水質維持のため、南下郡地区で七歩川の草刈りを地域住民で毎年実施しています。

【森岡校区】

○森岡そうめん流し

地域住民の交流の活発化を図るために碓山で地元住民により構成される実行委員会主催で毎年8月にそうめん流しを開催しています。



○森岡夢灯笼（竹灯笼）

毎年大晦日に碓山で、地元住民により構成される実行委員会の主催による竹灯笼の鑑賞会を開催しています。森岡小学校児童がペットボトルで作った灯笼も設置して楽しんでいただいています。



○河川美化運動

米良川の美化と水質維持のため、米良川の津守側と一の瀬川で毎年、年間2～3回程度草刈りを実施しています。

○地域素材料理の創出（地域素材を入れた料理研究会）

地域の特産品を使った郷土料理を創出するため、地元の女性で構成される料理研究会が毎月校区公民館で活動を行っています。創り出された料理は、滝尾芸能文化祭などの地域イベントで提供しています。

●ご近所の底力再生事業取組事例（自治会が対象）

事業名	取組	補助対象経費具体例
地域の安全を守る事業	<ul style="list-style-type: none"> 防犯、見守りパトロール 防災訓練、炊き出し訓練 	ベスト、帽子 かまど、炊き出し用食材
青少年の健全育成に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 自治会主催のこども工作教室 子ども音楽クラブ活動 	工作材料、文具 太鼓バチ、楽器
地域福祉の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者とのふれあい交流会 	高齢者用座椅子、テーブル
世代間の交流促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 三世代交流餅つき大会 三世代交流グラウンドゴルフ 	臼、杵、餅米、あんこ グラウンドゴルフ用品
地域の環境美化又は保全に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 地区内環境整備事業 花いっぱい運動 	草刈り機、替刃 花の苗、土、プランター
地域の活力の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化自治会まつり 	自治会名入りハッピー、マイク等音響機器

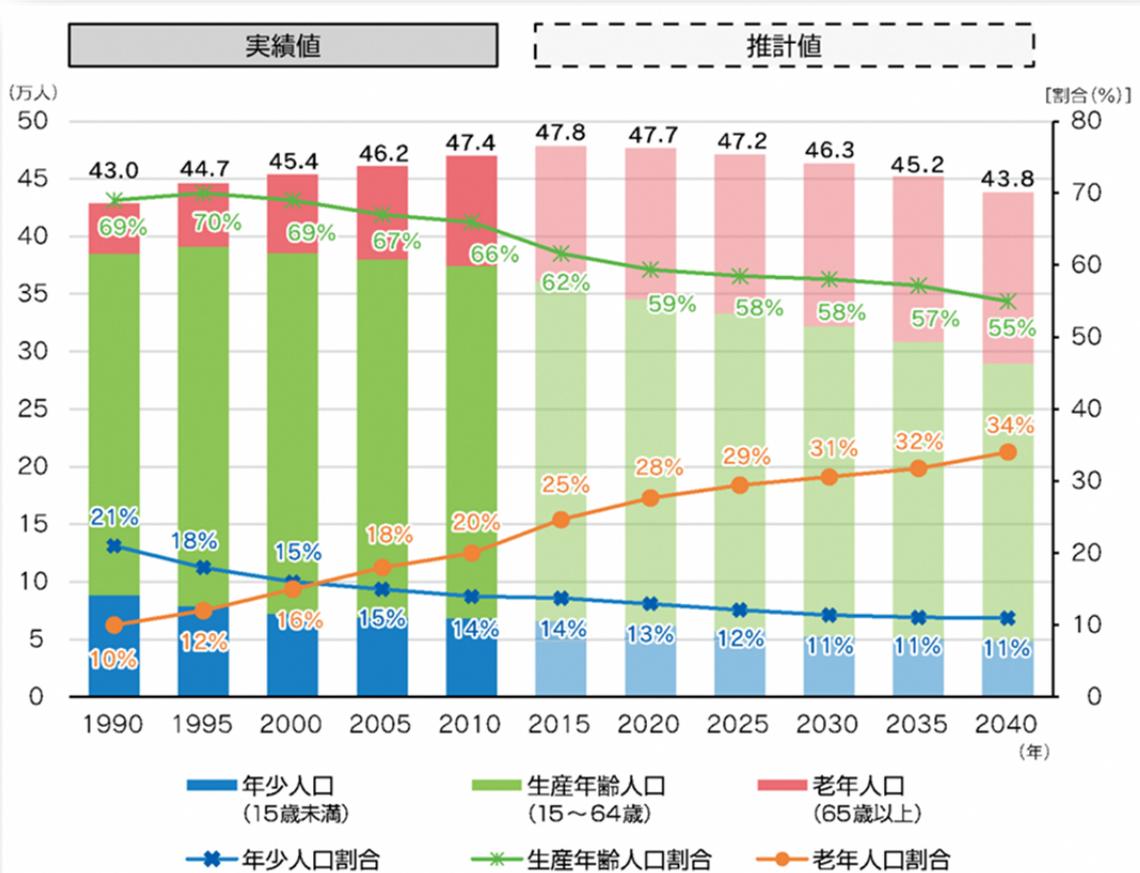
第3章 人口推移と将来推計

1 大分市の人口推移と将来推計

(1) 総人口・年齢3区分別人口の推計

2010（平成22）年国勢調査を基本に、2013（平成25）年3月発表の社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の数値を用いて、将来人口を推計しています。

また、社人研の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2010（平成22）年から2040年までの30年間で、本市の総人口は約3.6万人、生産年齢人口（15歳～64歳）は約6.5万人減少すると予測されています。一方、老年人口（65歳以上）は約5.3万人増加し、高齢化率は34%に達すると予測されています。



※2010（平成22）年まで総務省統計局「国勢調査」（2015（平成27）年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計）
2000（平成12）年以前の人口は、旧佐賀関町、旧野津原町の人口を含む

大分市の人口

人口

478,222人

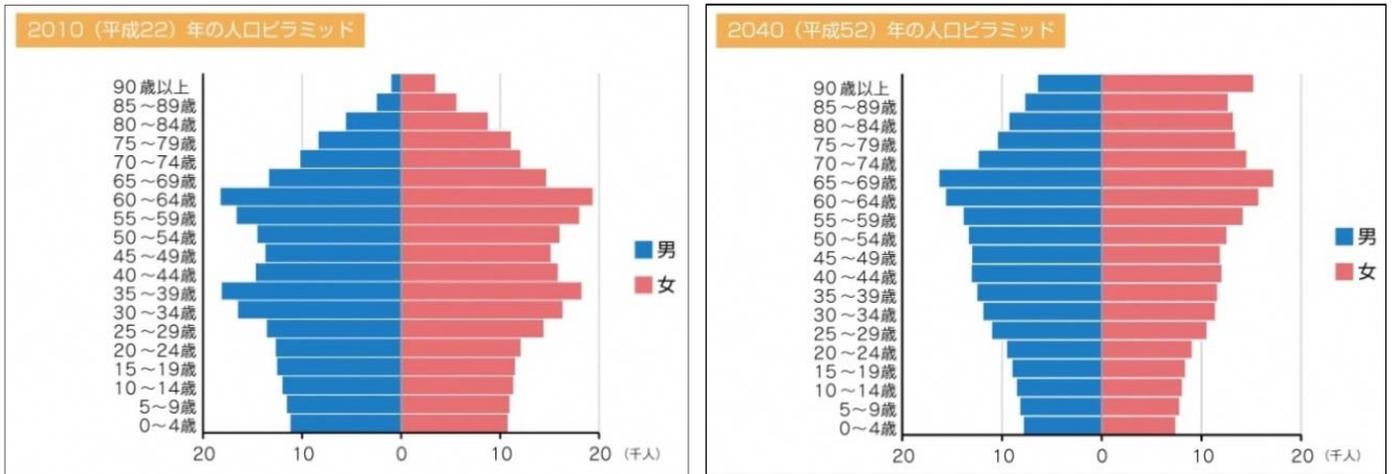
世帯数

218,643世帯

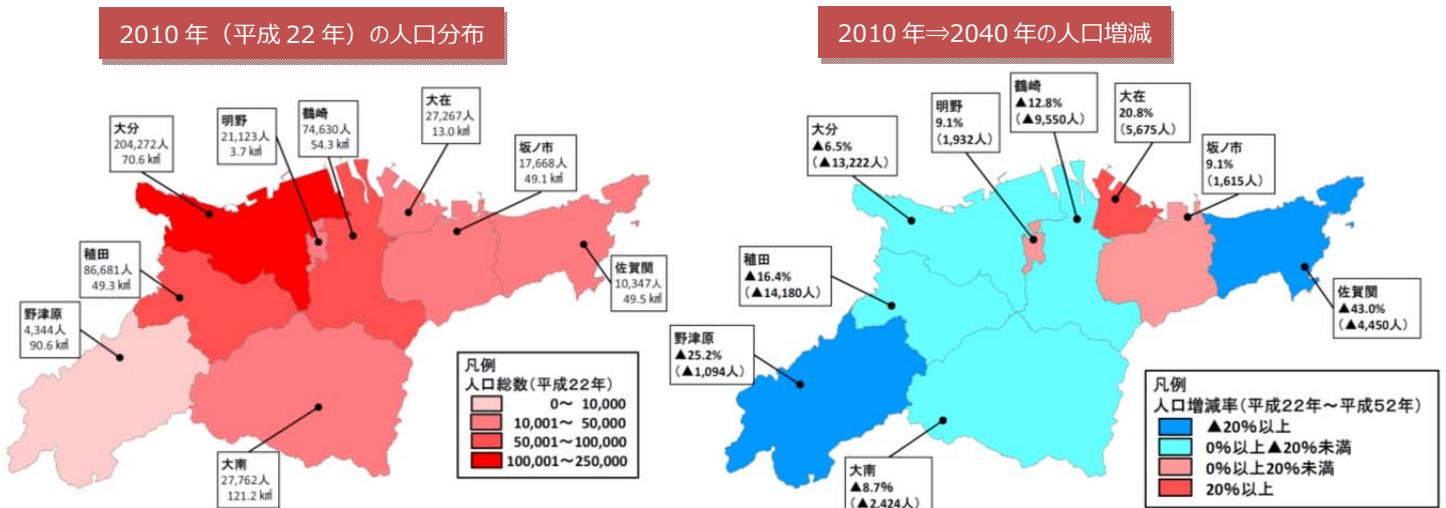
(2018年3月末日現在)

(2) 人口ピラミッドの推移

本市の総人口の減少や少子高齢化の進展に伴い、年少人口（15歳未満）を含む若い世代の人口が減少し、本市の人口ピラミッドは、「壺型」に向かっていくものと考えられます。



(3) 人口動向（地域の将来人口）

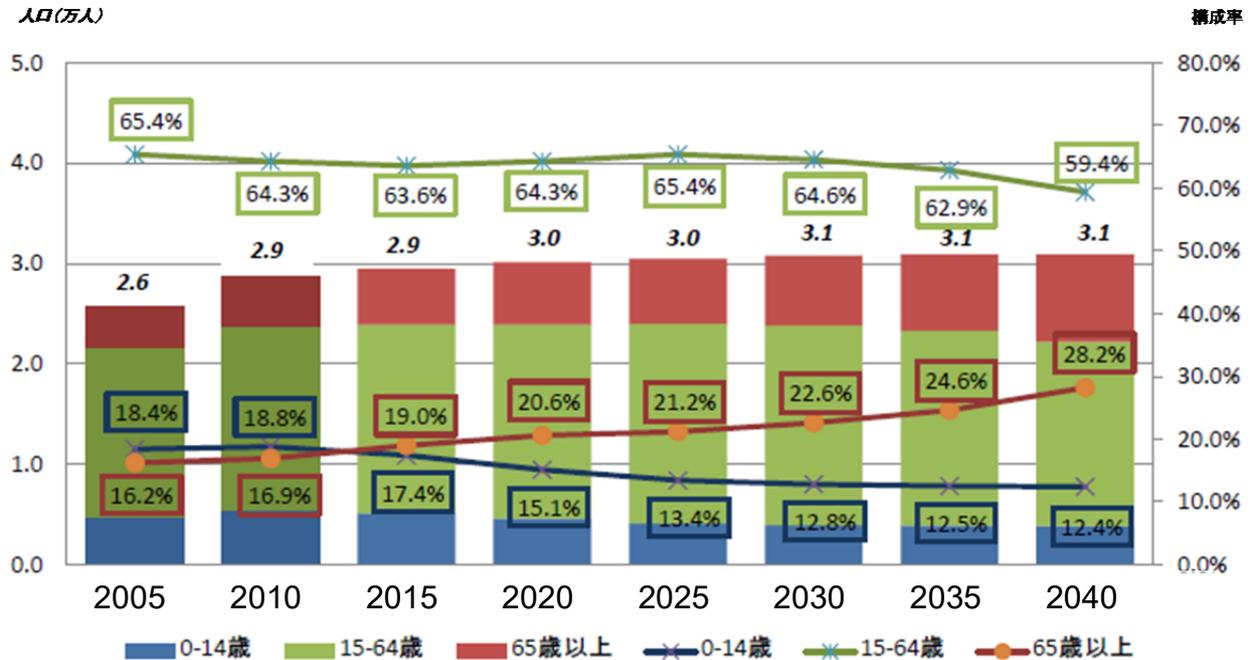


○本市の総人口の減少に伴い、多くの地域で人口増加が見込めない状況です。

○同じ市内でも地区ごとに年齢構成や人口動態が大きく異なっているため、課題の抽出や対策について、それぞれの地区ごとに検討する必要があります。

2 大分南部地域の人口推移と将来推計

(1) 地域別の人口推移（大分南部地域）



○大分南部地域の人口は、市の総人口の約6.0%を占めております。地域の人口は今後30年で約8.0%増加する見込みとなっております。

○地域内に近年、区画整理が終了した地区や大規模開発団地が多く所在しており、市全体と比べると少子高齢化や人口減少の影響が少なくなっています。

3 大分市の人口ビジョン

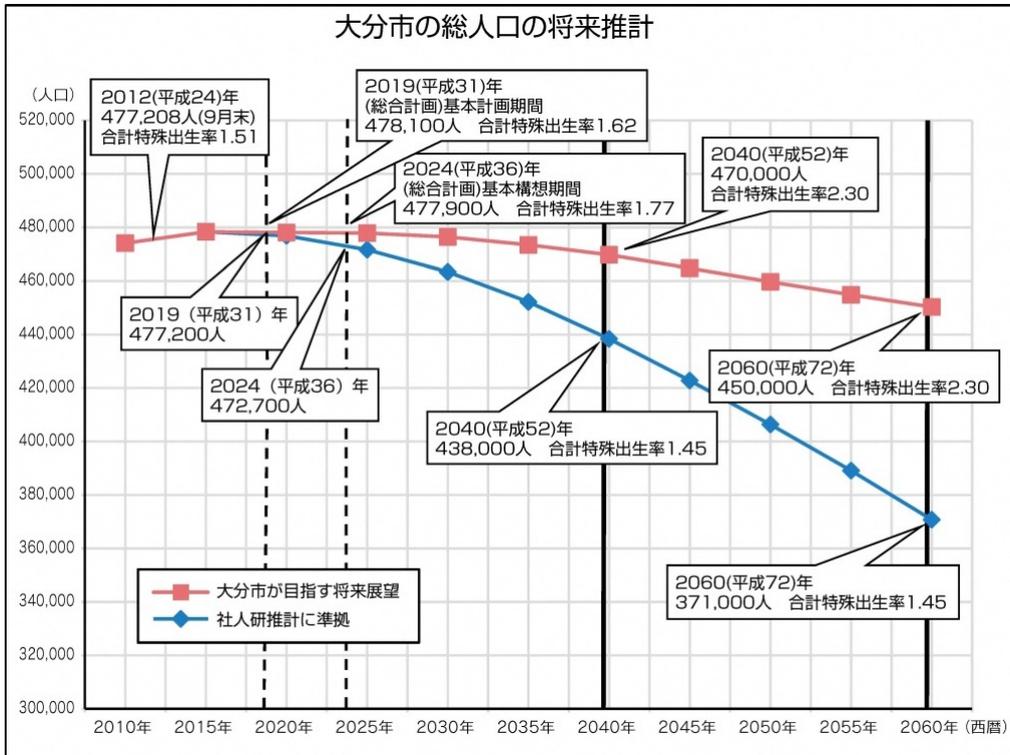
本市においては、国や大分県の将来展望を勘案するなか、県都大分市としての責任を果たすため、自然増及び社会増に向けての取組が進められています。

自然増については、結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現に向けた取組のさらなる充実を図ることにより、2030年までに合計特殊出生率を2.0程度まで高め、2040年には2.3程度まで高めることとされております。また、社会増については、今後も東京圏を中心とした大都市への人口流出が懸念されることから、大分県全体を鑑みるなか、大分県外から、特に東京圏を中心とした大都市からの転入者を増やすことを目指しています。

このように自然増対策と社会増対策に取り組むことにより、人口減少に歯止めがかかり、2060年の本市の人口は、45.0万人程度となる見込みです。

※合計特殊出生率：一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数

大分市が目指す将来展望
2060年 人口45万人程度



第4章 地域の分析

1 SWOT分析による地域の検証

本地域の魅力や課題を検証するにあたり、外部環境や内部環境を強み、弱み、機会、脅威の4つのカテゴリーで要因分析します。

*SWOT分析とは

それぞれの要素のもつ特性を内部環境、外部環境、プラスマイナスといった次の4つのカテゴリー「S (強み)・W (弱み)・O (機会)・T (脅威)」に分類整理する方法です。

多岐にわたる意見を体系化するのに適しており、地域の持つ強みや弱み、その地域が置かれている環境などを掘り下げるのに有効なツールです。

	プラス要素	マイナス要素
内部環境	Strength 活かすべき強みは？	Weakness 克服すべき弱みは？
外部環境	Opportunity 市場機会はあるか？	Threat 回避すべき脅威は？

強み Strength

豊富な歴史遺産と文化財・豊かな自然環境特性

- ・多く残る自然、特に田畑や伝統芸能お神楽等を今後も残していきたい
- ・滝尾百穴も滝尾にしかない素晴らしいものなので、もっと活かしていきたい
- ・神社が多い・史跡が多い・歴史に裏打ちされた地区・豊かな環境、自然が多い
- ・線路沿いに咲くサクラなどがとてもキレイで地域の自慢
- ・河川が多くあり自然体験学習などができる
- ・滝尾中学校区では石仏や碓山など多くの歴史的遺産が点在しているので、小中学生を対象にナイトウォークを行い、滝尾を好きになってもらいたい・故郷のルーツを知ってもらいたい

各種生活環境に恵まれた立地特性

- ・下郡地区の夜間は明るい・バスの便がとても良い・夕方の電車が多い
- ・大分駅まで歩いて行ける・コンビニが多い・適度な田舎
- ・市内中心部に近く中心部へのアクセスは良い
- ・買物がしやすい・山が近い・施設が多い

地域コミュニティや児童福祉活動の充実

- ・滝尾は子育てサロン、ふれあいサロンが充実
- ・ふれあいサロンは参加者がどんどん増えており、民生委員のやりがいを感じる
- ・子育てサロンも人が集まる・サロンに来てママ友が増えていく様子がみられる
- ・高齢者に優しい街づくりバックアップ体制の強化・地域の人が温かい
- ・碓山でのそうめん流し、夢灯籠等の行事が地域住民の楽しみとなってきている
- ・転入者に対するの受け入れ姿勢があたたかい・下郡小では住民がよく世話をしている
- ・子どもたちのあいさつが良く気持ちが良い

機会 Opportunity

各種インフラ体系の改善策の検討

- ・狭隘な道路の拡幅等住環境整備を・街路整備において車いすなどが安心して通れる整備を
- ・宗麟大橋が開通後の庄の原佐野線の明野までの早期開通・利用者が見込まれる下郡新駅の整備

求められる防災対策強化

- ・防災体制の充実・福祉避難所の増設が必要・下郡防災公園の整備、大体育館など
- ・片島地区治水対策の必要・米良川の浚渫を施し、河床を下げる・避難訓練の意識と実践
- ・女性防災士の育成・自治区ごとのリスク整理・地区防災会長は長期（10年以上）努めてもらう

滝尾駅を中心とする交通ネットワークの推進

- ・滝尾駅前の広大な空気を整備して地域の皆に利用させてもらいたい
- ・滝尾駅まで、地域を循環するバスがほしい
- ・滝尾駅周辺を活性化し、JRの活用を図るべき

子どもが伸び伸び育つ環境整備の推進

- ・旧跡めぐりのサポーターの育成・将来を見据えて子どもに必要な力の育成
- ・下郡公園を早く整備してほしい・子ども達が安心して遊べる公園や道具をもっと増やしてほしい
- ・教育受け皿の整備・河川で子ども達が安全に遊べる場所があるとよい
- ・PTAと自治会が協力して、地域の歴史を子どもと見ながら歩くナイトウォークの実施をしたい
- ・滝尾の自然と歴史について、小中学生に対して地域の詳しい方から説明してもらう

地域の活性化のための各種方策の検討

- ・JRのレールを使って、富山式路面電車を整備してほしい・地区内にスポーツ施設を
- ・竹灯籠やイルミネーションなどを自治会で行っている
- ・子どもが遊べるような碓山を活かした取組・子育てサロンはママ友ができて良いと思う
- ・地区内の河川を美しくする・七歩川の美化・水質改善で長谷川にホテルを
- ・高齢者の一人暮らしの方に緊急用通報装置を
- ・子どもが地域農業にどれだけ係わるか・学校教育との連携
- ・線路の周りに桜を植えて、線路を中心とした街づくりをできれば明るい街ができる

未利用地の活用や地場産品の普及等農業の振興

- ・特産品の認識と活用・農業空間は居住者にうるおいを与える（住民との関わり方）
- ・二草、大葉など地域野菜はあるが認識の普及を・林野、田畑などで使われていないものを活かす

弱み Weakness
<p>狭隘道路等道路未整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の道が狭い・碓山裏の田んぼの中の道路が狭い（農作業中） ・滝尾駅前の道路が狭く、車、バスの離合が難しい・幹線道路の交通量多い ・碓山裏の通り抜けが多く、危険・踏み切りが多いので車にとっては不便・道路関係が一番の課題 ・曲の山付近では車両火災があれば消火作業の妨げになり消防団が交通整理に追われる ・通勤の抜け道など区内を通過する車も多く、徒歩や自転車で通学する子どもが危険 ・消防防災関係から考えても道路が狭いと思う <p>インフラ整備の欠如などによる住環境の悪化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産廃と福祉施設が集中しすぎ・米良産廃場をなくしてほしい・下郡校区と森岡、滝尾校区の住環境の差が大きい・森岡校区は買い物に不便・かたしま台の泥水をためる池に汚泥がたまっている ・片島地区の公共下水接続が進んでない・滝尾地区に公共施設がない・雨が降ると水がたまりやすい ・スポーツ出来る施設が少ない・碓山参道の一部に手すりがない・碓山の桜の木が少なくなった。 ・木を植えて花見をしたい <p>自治会などへの参加者欠如等地域コミュニティが抱える問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員に女性が少ない・地区、役員決めに苦勞する・自治委員、民生委員等のあり方 ・老人会入会者より退会の傾向あり・自治会長や老人会長等の地区役員になる人が少ない ・民生委員を引き受けてくれる方が少なくなって困っている・自治会などへの参加者欠如等 <p>河川はんらんの危険と衛生害虫の危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蚊が多い・虫が大きい・小さい河川が多い・昔から川のはんらんがよく起こっていた・災害に弱い地区 <p>公共交通機能の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少ない・人口の割に公共交通が不便 ・大都市から戻ってきて感じたのは、バス、電車の便利が良くない <p>子どもが伸び伸び育つ環境整備の欠如</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを含めた地域の活性化が感じられない・子ども同士が遊ぶ時間ができないか <p>緊急の際の医療施設の欠如</p>
脅威 Threat
<p>少子高齢化に伴う負の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人住まいが増えており、見守りなど民生委員の活動などが難しくなっている ・児童の数が少ない・農業後継者が少ない（農家の高齢化） <p>自然災害の危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の道路沿いの崖が地震等でくずれの恐れがあり危険 <p>雇用不足による将来の不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事がないと子どもが大きくなってから戻って来られる場所にはならない

SWOT分析

第5章 地域の目指すべき姿（将来像）

これまでの第1章から第4章までにおいて、大分南部地域のこれまでの取組や現状、将来に向けた魅力や課題の整理を行いました。これらの内容を踏まえ、今後、地域のさらなる発展のために、地域の目指すべき姿（将来像）を次のように設定します。

～自然豊かな温故知新を体感できるまち～

（将来像への思い）

中心部に近い利便性の良さと適度な緑があり、人の気持ちの温かい地域です。コンパクトなまちであるとともに、多くの歴史的遺産と、豊かな自然を有するこのまちの魅力を、地域内外の多くの方に知っていただき、子どもから高齢者まで多くの人が集い、憩えるまちにしていきたいという思いで将来像を設定しました。



第6章 将来像の実現に向けた取組

1 これからのまちづくりに向けた市長への提言

これまで、地域まちづくりビジョンの策定に向けて、改めて自らの住む地域を見直すとともに、今後、地域と行政が一緒になってどのような取組を進めていくべきか議論を深めてきました。

わたしたち大分南部地域の住民が描く地域の将来像の実現のため、これからのまちづくりに向けて次のとおり提言します。

将来像の実現に向けた提言

提言1：住み続けたいくなる、帰ってきたいくなる地域づくり

住民がいつまでも住み続けたいくなるような地域、そして、一度地域を離れた人もいつか帰ってきたいと思えるような地域づくりを望みます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代が、いつまでも安心して暮らせるような地域づくりを望みます。

提言2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

地域に残る滝尾百穴などの歴史的遺産や、神楽などの文化的な需要が高い本地域の魅力を最大限に活かし、地域住民同士や地域外の人とも世代を超えて交流できる取組を継続・充実させ、豊かな自然とともに、地域の資源を一体的に堪能できる仕組みづくりを望みます。

提言3：災害に備えた取組の推進

南海トラフを震源とする巨大地震とこれに伴う津波や、大雨による河川のはんらんなどへの備えとして、住民による自助はもちろん、地域における共助や国・県・市における公助も重要です。特に、大分川に面している地域として、水害に対して直ちに避難できる安全の確保を望みます。

2 提言に基づく事業提案の一覧

地域ビジョン会議では、地域の将来像を実現させるための提言に基づき、事業の提案を行い、個人、地域、行政の役割分担についての検討を行いました。それらの事業提案については下記のとおりです。

番号	提言	事業名	内容
①	提言1	子育てしやすい住環境の整備	地域内の道路が狭く、通学路を通り抜ける車も多いため危険です。また、地域に子どもが少なくなっており、地域活性化と住環境の改善が必要であることから、道路、駅、公園などの整備を行う。
②	提言1	JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる	大分駅から大分大学駅の間、3~400m間隔で新駅を設置し、路面電車を走らせることで観光客を集めることができ、高齢者にも優しい公共交通となります。
③	提言1	滝尾駅前の広い空地を活用	滝尾駅北西の空地を有効活用できるようにしてほしい。市からもJRに働きかけをしてほしい。
④	提言1	下郡駅の開設とその沿線に防災公園のある桜並木道の整備	歴史に裏打ちされた地域の観光資源を活かすため、人が集まりやすくなる新駅、沿線道路の整備を行う。宗麟大橋の開通により交通量が増加しているため、渋滞の緩和にもつながる整備を行う。
⑤	提言1	利便性に富んだ街づくり	曲などの地区内の狭い抜け道を通る車が多く危険なため、バイパス道路を整備する。

提言1：住み続けたい、帰ってきたい地域づくり

提言2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

提言3：災害に備えた取組の推進

大分南部地域まちづくりビジョン 事業提案

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の方へ声掛け 子育てサークルへ参加 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな世代の方が参加できるイベントづくり 防犯灯の設置など 	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊びが自由に行えるような広い公園等を整備してほしい 道路などの住環境整備の推進
<ul style="list-style-type: none"> 富山市へ視察に行き、新たな観点で研究する 自治会と一体となった取組を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 民意を行政へ伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 富山市へ視察 必要な予算の試算 機運の醸成
<ul style="list-style-type: none"> 利用の増進 	<ul style="list-style-type: none"> 利用の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> J Rとの協議
<ul style="list-style-type: none"> 桜の苗木の収集 公園デザインを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会も協力した土地の確保 地域の話合う場をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> J Rとの協議 必要な予算の試算 事例の調査
<ul style="list-style-type: none"> 現状把握し行政へ伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会も協力した土地の確保 協議会の設立 	<ul style="list-style-type: none"> 現地確認 道路計画の検討

大分南部地域まちづくりビジョン 事業提案

番号	提言	事業名	内容
⑥	提言2	豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成	南部地域の豊富な歴史資源を活用するため、百穴や曲石仏などの地域の歴史を伝える旧跡めぐり子どもサポーターを育成する。郷土愛の醸成につながり、歴史探索などで多世代が交流でき、子育てサークルなども楽しめる機会の創出につながる。
⑦	提言2	子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充	開催回数の増加や対象者、対象地域の拡大など、子育て世代もそれ以外の人もいきいきと交流しやすい環境の整備を行う。
⑧	提言2・3	下郡に新たな公園整備	3校区の子どもが集まれるような公園を整備し、人が集い、子どもが安心して遊べる拠点とする。駐車場や駅に近接した公園を中心に、地域の活性化を図るとともに、防災公園として防災情報の発信等も行う。
⑨	提言3	児童と高齢者が安全に避難できる避難設備（インフラ）の整備	避難拠点となる避難所などへの周辺道路の幅員確保などの整備を行う。緊急車両が入れない道路の拡幅、排水路整備など安全安心に資する整備を行う。
⑩	提言3	安全・安心な地域づくり	昨年の台風18号により地域内では床下浸水が発生したこともあり、防災に役立つ情報を地域の人たちで共有するとともに、防災人材の育成などにより、防災意識の向上に役立てる。

提言1：住み続けたいくなる、帰ってきたいくなる地域づくり

提言2：地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

提言3：災害に備えた取組の推進

大分南部地域まちづくりビジョン 事業提案

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら積極的に参加する ・参加を促す呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画 ・史跡に詳しい方の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の提供 ・PR活動 ・事業の補助、広報
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の子育て世帯へ周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ・運営委員の確保 ・イベントの企画実施 ・美化活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動 ・事業の補助、広報 ・市有地の利用の協力 ・地域活動への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・推進する仲間づくり ・イベントへの協力参加 ・あいさつ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画誘致 ・自治会などでの検討 ・行政との協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な計画の検討 ・地域との話し合いの場の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・現地確認 ・居住地区のリスク理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害図上訓練等のリスク実態の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ごとの避難経路等の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・行事等を通じた住民同士の顔合わせ ・居住地区のリスク理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の防災組織と連携 ・災害図上訓練等のリスク実態の把握 ・地域による対策会議実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ごとの避難経路等の確保 ・情報整理と情報発信

資料編

1 策定経過

日 付	取 組 内 容
平成 29 年 5 月 11 日	大分南部地域ビジョン会議 準備会議 大分南部地域ビジョン会議委員の委嘱
6 月 7 日	大分南部地域ビジョン会議 第 1 回会議 大分南部地域ビジョン会議顧問の参画
8 月 2 日	大分南部地域ビジョン会議 第 2 回会議
11 月 1 日	大分南部地域ビジョン会議 第 3 回会議
平成 30 年 2 月 7 日	大分南部地域ビジョン会議 第 4 回会議
5 月 23 日	大分南部地域ビジョン会議 第 5 回会議
7 月 2 日	大分市地域まちづくりビジョン報告会 市長へ提言

2 大分南部地域ビジョン会議委員及び顧問、事務局名簿

大分南部地域ビジョン会議 委員 17名

※敬称略

役 職	氏 名	所 属 等
会長	糸永 隆章	滝尾地区連合自治会長（滝尾校区）
副会長	橋本 直子	滝尾地区民生委員児童委員協議会長
委員	片山 仁之	滝尾地区連合自治会副会長（森岡校区）
委員	熊谷 徹郎	滝尾地区連合自治会副会長（下郡校区）
委員	佐伯 和夫	滝尾地区連合自治会事務局長
委員	二宮 三紀	滝尾地区民生委員児童委員協議会副会長
委員	衛藤 博文	滝尾地区老人連合会長
委員	村本 由美子	学校関係者代表（滝尾小校長）
委員	西田 彰久	学校関係者代表（下郡小PTA会長）
委員	児玉 元治	滝尾校区公民館長
委員	橋本 正勝	森岡校区公民館長
委員	野田 丞治	下郡校区公民館長
委員	内田 孝晴	消防団滝尾分団長
委員	長尾 博行	滝尾地区防災士協議会長
委員	大城 公德	そうめん流し実行委員
委員	関 京子	ボランティア
委員	井 美佐子	ボランティア

（委員の所属等は就任時のもの）

大分南部地域ビジョン会議 顧問 1名

※敬称略

役 職	氏 名	所 属 等
顧問	田島 寛信	大分市議会議員

大分南部地域ビジョン会議 事務局 10名

役 職	氏 名	所 属 等
事務局長	佐藤 等	財務部 次長
事務局次長	佐藤 文登	大分南部公民館 館長
事務局	伊東 章将	市民協働推進課 主任
事務局	家長 保夫	大分南部公民館 主幹
事務局	村田 滋	公園緑地課 専門員
事務局	水田 美幸 (佐藤 昭史)	土木管理課 参事 (住宅課 参事補)
事務局	甲斐 政治 (足立 美乃里)	商工労政課 参事補 (商工労政課 参事)
事務局	石井 功	農政課 参事補
事務局	山口 大介	企画課 参事補
事務局	松木 哲郎	企画課 主任

(構成員の所属は選任時のもの)

3 大分市地域ビジョン会議設置要綱

（設置）

第1条 市民が思い描く地域の未来像であり、地域の特性を活かしたまちづくりの方向性についての市民の提言となる地域まちづくりビジョンを策定するため、地域ごとに地域ビジョン会議（以下「ビジョン会議」という。）を設置する。

（名称及び設置地域）

第2条 ビジョン会議の名称及び設置地域は、別表のとおりとする。

（所掌事項）

第3条 ビジョン会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- （1）地域まちづくりビジョンの策定に関すること。
- （2）地域まちづくりビジョンの市長への報告に関すること。
- （3）その他地域まちづくりビジョンの策定に関し市長が必要と認める事項

（組織）

第4条 ビジョン会議の委員は、25人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼する。

- （1）各種団体の代表者
- （2）校区会長
- （3）学識経験を有する者
- （4）その他市長が必要と認める者

（参画依頼の期間）

第5条 参画依頼の期間は、参画依頼の日から第3条に掲げる所掌事項が終了する日までとする。

（会長及び副会長）

第6条 ビジョン会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、ビジョン会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第7条 ビジョン会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

4 会議は、原則公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、会議に諮って、これを公開しないことができる。

(部会)

第8条 ビジョン会議は、地域内における特定の地区及び事項について調査、研究等を行うための部会を設置することができる。

2 部会は、会長の指名した委員を部会員として組織する。

3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもって充てる。

(顧問)

第9条 ビジョン会議ごとに顧問を置くことができる。

2 顧問は、市議会議員とする。

3 顧問は、ビジョン会議からの要請に基づき、市長が参画を依頼する。

4 顧問は、ビジョン会議に対し助言を行うことができる。

(報償金等)

第10条 委員に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(事務局)

第11条 ビジョン会議の庶務を処理するため、ビジョン会議ごとに事務局を置く。

2 事務局の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、ビジョン会議の運営について必要な事項は、会長がビジョン会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成29年4月17日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、第3条に掲げる所掌事項が終了する日限り、その効力を失う。

別表（第2条関係）

名 称	地域設定
大分中央地域ビジョン会議	大分中央公民館の所管区域
大分西部地域ビジョン会議	大分西部公民館の所管区域
大分南部地域ビジョン会議	大分南部公民館の所管区域
南大分地域ビジョン会議	南大分公民館の所管区域
大分東部地域ビジョン会議	大分東部公民館の所管区域
鶴崎地域ビジョン会議	鶴崎支所の所管区域
大南地域ビジョン会議	大南支所の所管区域
植田地域ビジョン会議	植田支所の所管区域
大在地域ビジョン会議	大在支所の所管区域
坂ノ市地域ビジョン会議	坂ノ市支所の所管区域
佐賀関地域ビジョン会議	佐賀関支所の所管区域
野津原地域ビジョン会議	野津原支所の所管区域
明野地域ビジョン会議	明野支所の所管区域

（備考） 公民館の所管区域のうち、支所の所管区域は除くものとする。



大分南部地域ビジョン会議